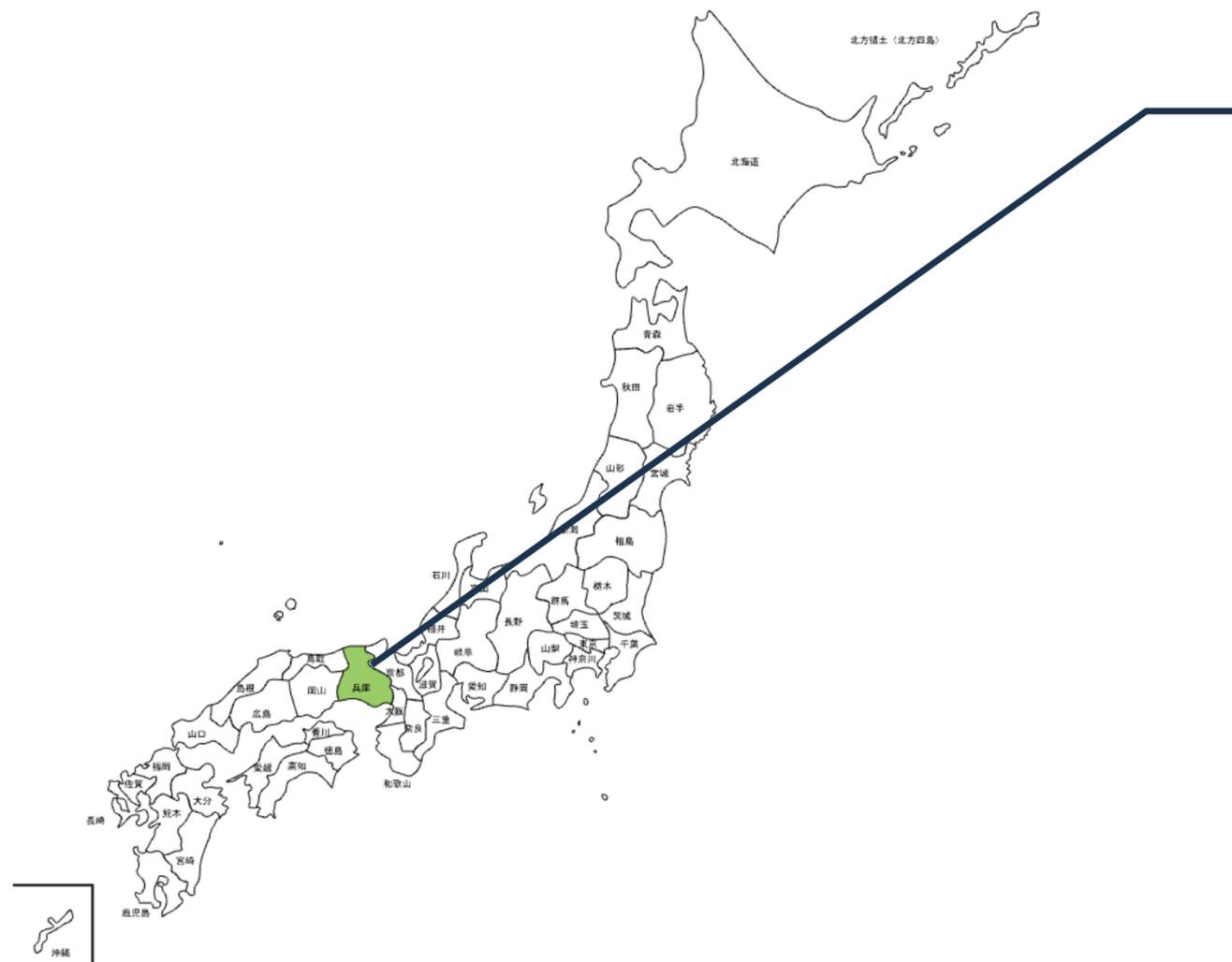


# 神鍋高原 ゆきみらい行動計画

～ 気候変動×地域観光のみらい～

日高神鍋観光協会  
サステナブルツーリズム委員会  
飯田 勇太郎

# 神鍋高原





# 事業の目的

気候変動による異常気象、人口減少による後継者不足が大きな社会問題となっている現在、自然と人を資本とする神鍋高原において、100年後も神鍋高原の観光を存続するために、気候変動対策や後継者不足に関するアクションを学び、行動していく。

さらに、その取組みを継続し、発信し、選ばれ続けていく観光地として確立する事を目的とする。

2022年10月、日高神鍋観光協会サステナブルツーリズム委員会として発足

皆様のおかげで  
神鍋高原はスキー発祥  
100年を迎える  
ことができました。

KANNABE

お問い合わせ 日高神鍋観光協会 〒669-5372 兵庫県南州市日高町栗野59-13 Tel.0796-45-0800



平田仁子（ひらた きみこ）

Climate Integrate 代表理事

千葉商科大学大学院客員准教授/早稲田大学社会科学研究科博士課程修了（社会科学博士）

出版社勤務後、米国の環境団体の経験を経て、1998年から2021年までNPO法人気候ネットワークに勤務。国連の気候変動交渉（COP）や気候・エネルギー政策に関する分析や情報発信などで20年以上の経験を有する。2021年「ゴールドマン環境賞」を受賞（日本人3人目、女性初）。2022年には英BBCが選ぶ「100人の女性」に選出。2022年にClimate Integrateを設立。ファクトに基づく情報提供や各ステークホルダーの脱炭素への取り組みの支援を行う。



佐々木康之（ささき やすゆき）

Climate Integrate コミュニケーション・マネジャー

バンド「bonobos」でデビューし全国ツアーや大型フェスに出演、多数の音源を発表。脱退後はプロデュースやCM音楽制作、ツアーサポートなど音楽家として活動開始。同時に社会活動へ積極的に参加し、NPOいけだエコスタッフでは食とエネルギーの地域内循環をテーマにプラントベースレストラン「3RキッチンVegan」の立ち上げや、小水力発電などに取り組む。草の根運動を大切にしつつ、それだけでは変わらない世の中の根深い仕組みに提言できる場を求め、2022年春よりClimate Integrateに参加。京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）環境デザイン学科(建築専攻)卒業。

# 最初の取り組み



気候変動×観光について

考える vol.1

平田 仁子氏

井田 徹治氏



気候変動×観光について

考える vol.2

蓑島 豪 氏

三浦 秀一氏



気候変動×観光について

考える vol.3

小松 吾郎氏

吉沢 直 氏



視察研修

白馬村

野沢温泉村

# 神鍋高原 ゆきみらい 100年宣言



# ❄️ ❄️ 神鍋高原 ❄️ ❄️

## ゆきみらい100年宣言

神鍋高原は兵庫県北部に位置し、神鍋火山群を中心とした高原

エリアであり、雪・水・土に恵まれ、自然と共生してきた地域です。

1923年(大正12年)のスキー場開山以降、それまでの農業に加え、

雪を中心とした観光産業は目覚ましい発展を遂げました。

現在の神鍋高原では気候変動による降雪量の減少や、異常気象に

よる農作物被害等、自然環境の変化に伴う課題に直面しています。

持続可能な自然観光地域となり、次世代の子どもたちと雪がある

喜びを共感するために。

今、私たちにできることは何かを真摯に考えた能動的な自覚と

行動が必要です。

そこで私たちは、以下を宣言します。

### 1 カarbonニュートラルの実現

観光に関連する温室効果ガスの排出量を2030年までに50%以上削減することを目標に変革を進め、2040年代のカーボンニュートラルの実現を目指します。

### 2 サステナブルな観光地づくり

私たちは快適に楽しく過ごせる事を前提に、世界で高まるサステナブルな観光へのニーズに応えます。また神鍋高原を訪れる人が気候変動に対する気づきを得て、行動変容を促すことができる地域を目指します。

### 3 自然の再生と地域資源の活用

エネルギーや消費と生産に関する仕組みづくりにおいて、地域資源を活用しながらネイチャーポジティブを実現し、環境負荷の低減と魅力的な観光振興の整合性がとれる方法を積極的に採用します。

### 4 学びと挑戦

行政・専門家・事業者・市民の方々と共に学び、2023年内に先駆的な具体的行動計画を策定し、持続可能な仕組みへの転換に向けて挑戦し続けます。

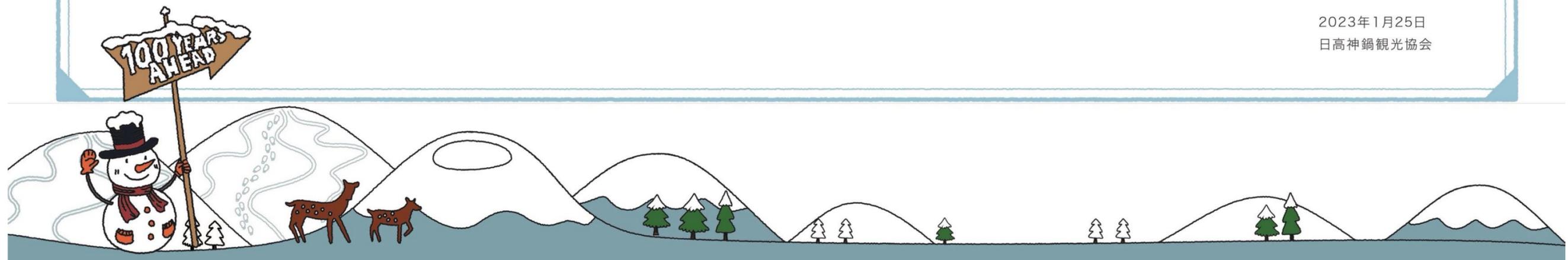
私たちは以上の宣言内容をもって、西日本で最も歴史のあるスキー場としてスキーリゾートを牽引し、100年後も雪が残る未来に向けて行動します。

※カーボンニュートラル=温室効果ガス排出量を実質ゼロにすること

※ネイチャーポジティブ=生物多様性を含めた自然資本を回復させること

2023年1月25日

日高神鍋観光協会





# 神鍋高原 ゆきみらい 行動計画

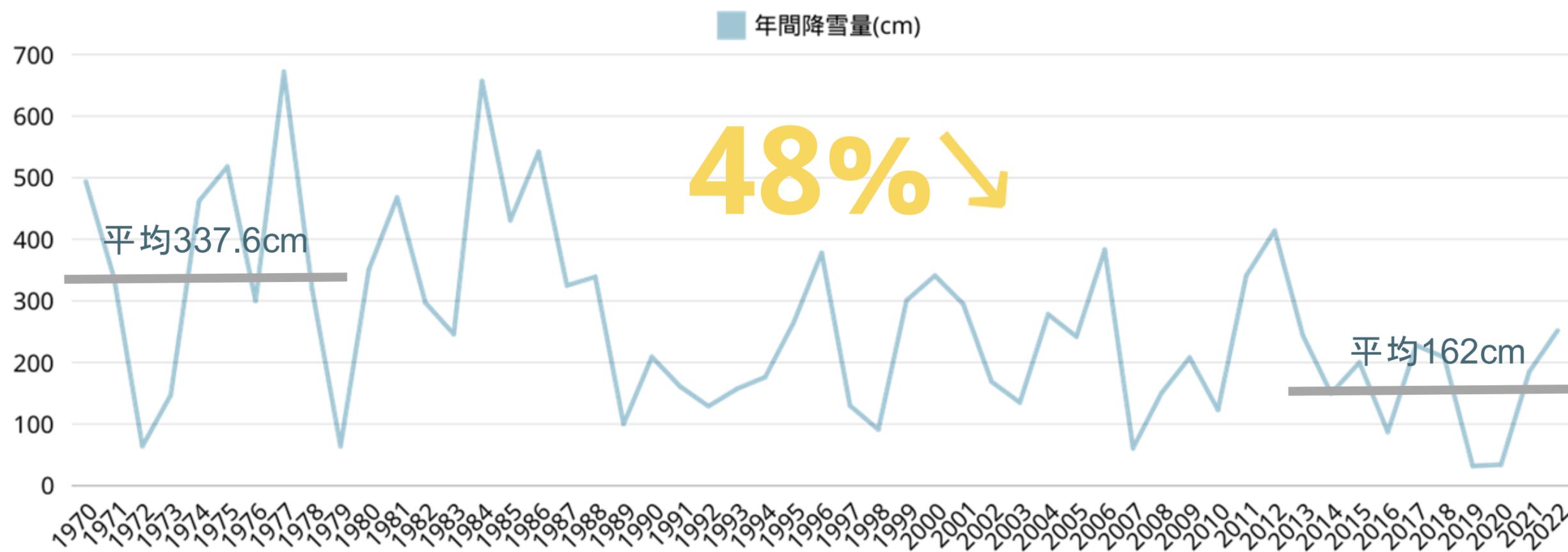
神鍋高原  
ゆきみらい  
行動計画

THANK YOU FOR THE WINTER!

## Re Beginning 2024



# 降雪量の減少



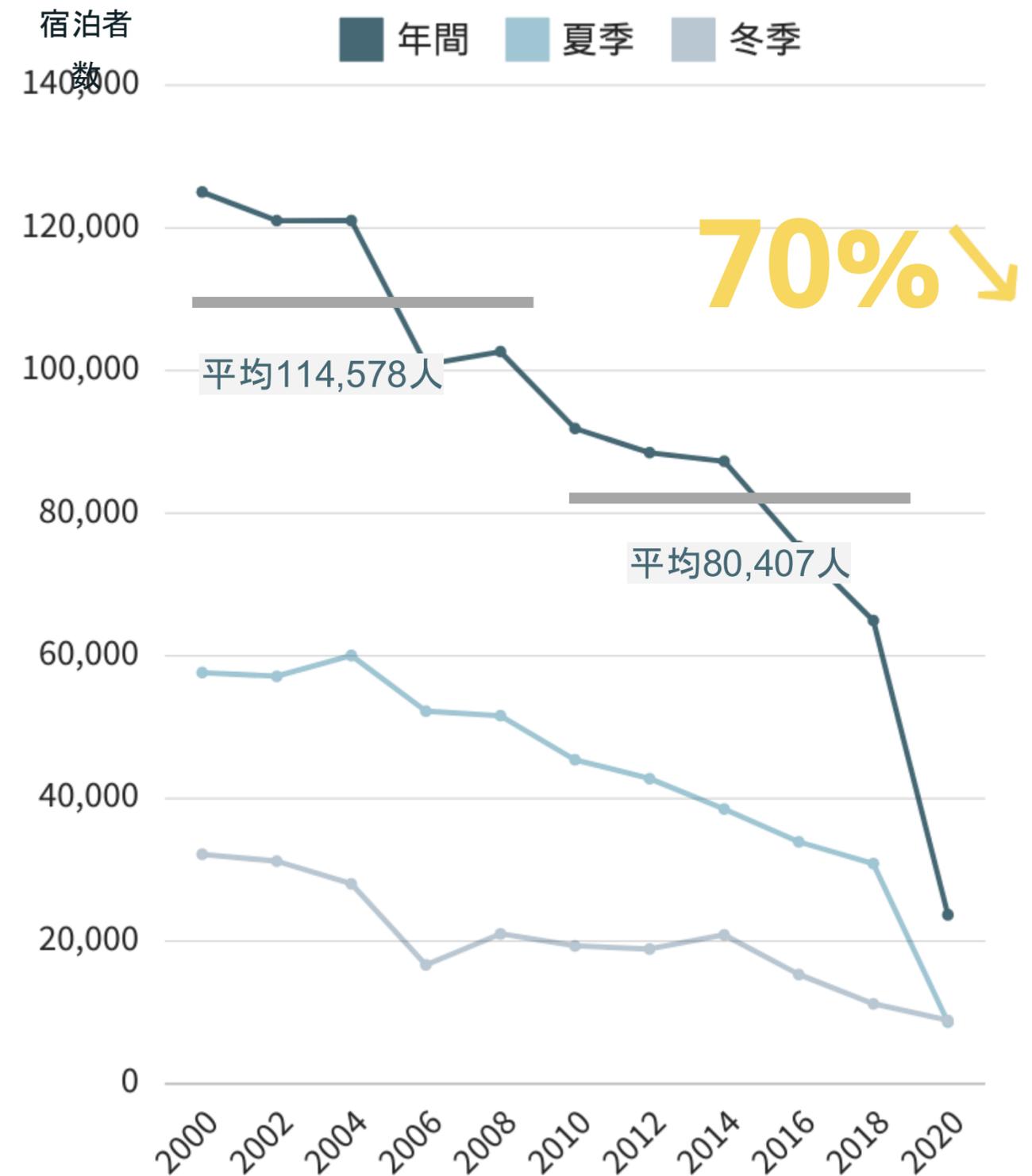
2013～2022年までの10年間の平均降雪量は  
1970～1979年の**48%**と半分以下に減少。

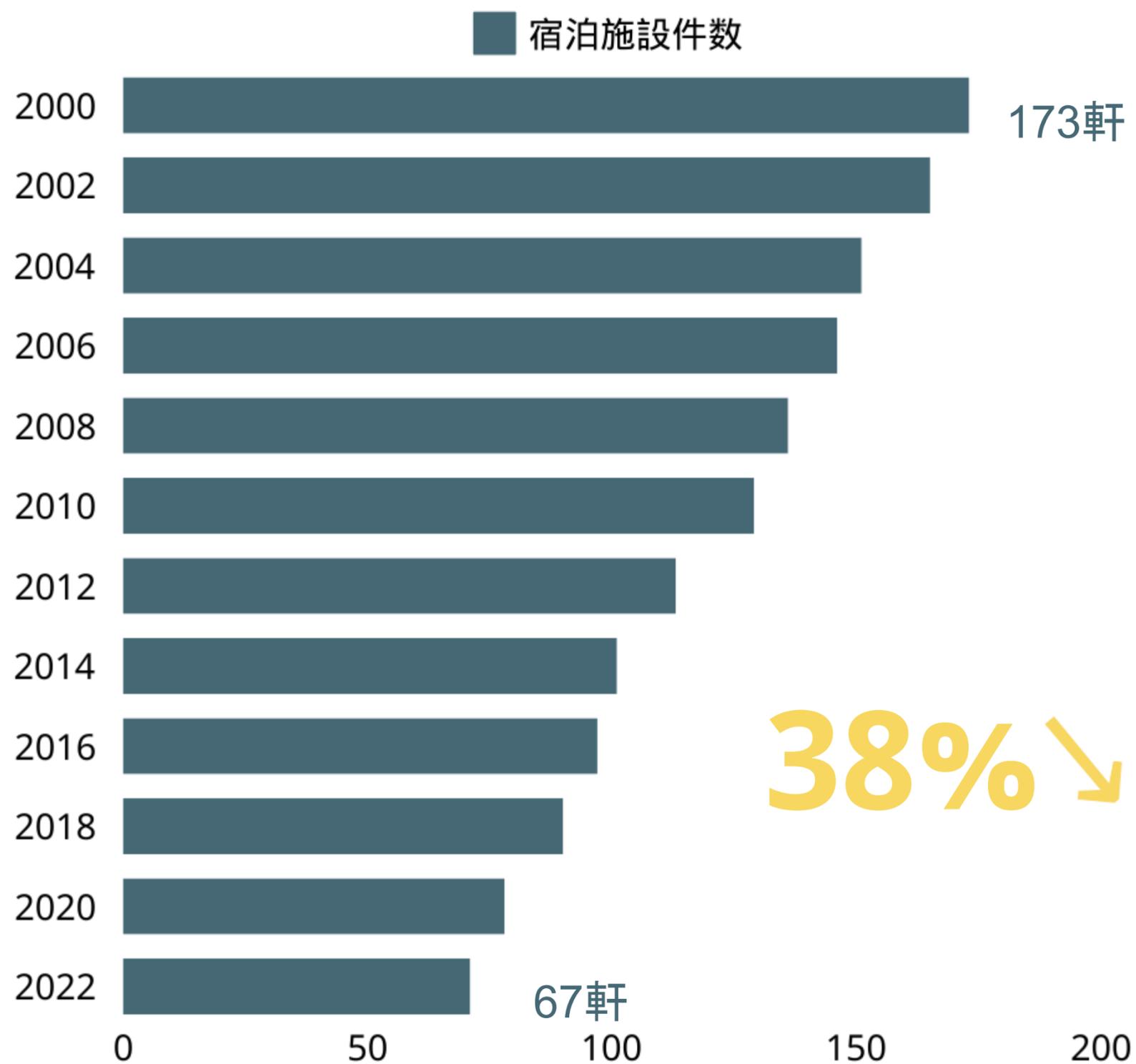
# 宿泊者数の減少

2010年代\*の平均年間宿泊者数は  
2000年代の**70%**と3割減。

\* 2000年～2019年。

2020～2022年は新型コロナウイルス感染拡大の  
影響が大きい為、2019年までの数字で比較。





2000年に173軒あった宿泊施設の  
営業件数が2023年には**38%**の67軒に\*

\* 夏期の営業件数

**地域の担い手不足**

# 気候変動対策

カーボンニュートラル

# 地域資源の活用と再生

ネイチャーポジティブ

# 選ばれる観光地づくり

サステナブルツーリズム

# 清滝小学校断熱ワークショップ



# 地域共同基金「1% for Local」





Hachidori 1 action project

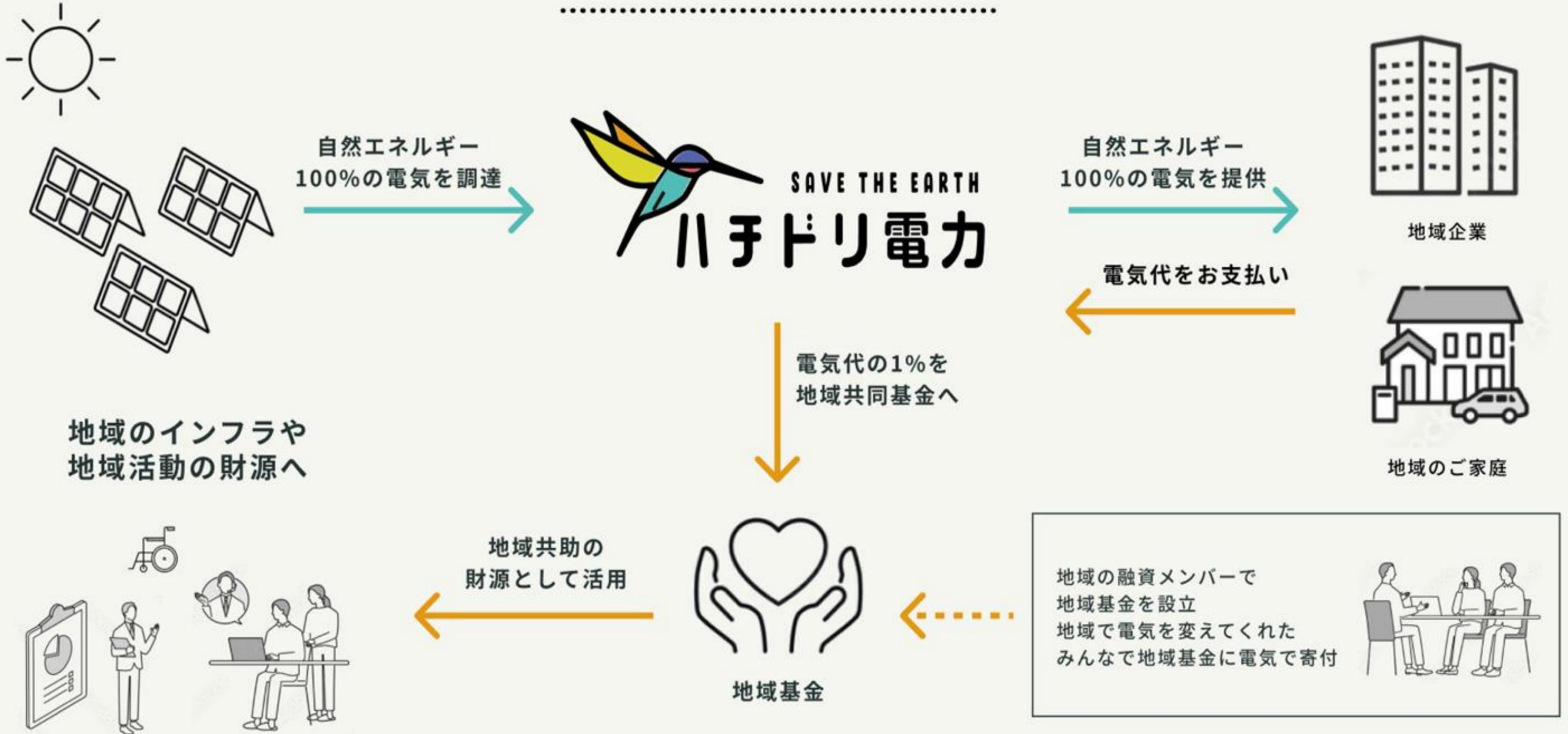


# 1% for Local

地域共同基金  
プロジェクト

電気代の1%で地域に新しい財源を生み出す

# 地域共助の仕組み



# サステナブルツアー造成



時間	プログラム	内容	ポイント
10:15	オリエンテーション 道の駅 「神鍋高原」	・観光協会長の挨拶 ・関係者挨拶 ・参加者自己紹介 ・コンセプトのご説明	「研修のコンセプト」 ・なぜサステナブルツーリズムなのか。 ・なぜ神鍋がチャレンジするのか。
10:40	神鍋山 ハイキング 神鍋山	ジオガイド前田さん、岡藤さんの案内のもと、神鍋山へ (神鍋の文化、歴史、近年の課題、スキー産業の衰退の原因と対策、今後のトランジションについて)	【文化・歴史/スキー場の現状】を知る
11:45 前後	道の駅の取り組み紹介 道の駅	長寿命化改修に際しての温暖化対策について (日高振興局 徳味さん)	ゆきみらい宣言やサステナブルツーリズムの視点における道の駅の役割等
12:00	昼食	道の駅神鍋高原 サステナブル特別メニュー	プラントベース食
	移動	EVトックトック、EVバイク	EVモビリティ乗車体験
13:30	田んぼ見学 奥神鍋	コウノトリ育む米の農法と生物多様性や豊岡市の取り組みについて	産業・自然 ゆきみらい宣言におけるネイチャーポジティブとの整合
15:00	チェックイン	神鍋ハイランドホテル	宿の取り組みについて
15:30	森林整備 アグリノ森	「サステナ未来の森」を体験 切って運んで森の再生	自然に触れる 森林整備の意義
17:00		お風呂・休憩	
18:00	夕食 ペンシオーネ キタムラ	森のめぐみ鍋	サステナブルな食（プラントベースの意義、地産地消、食品ロス/ウェイスト）
20:00	レクチャー フィードバック	委員会の取り組み&現在の課題 意見交換、評価を受ける	



時間	プログラム	内容	ポイント
7:30	朝食 📍 ホテル	プラントベース朝食	お茶の補充
9:15	見学 📍 コウノトリの郷公園	豊岡市職員船越さん、西岡さんによる案内ビデオ鑑賞/野生復帰の取組みについて/質疑応答/コウノトリ・館内見学	生物多様性
11:00	見学 📍 加陽湿地	豊岡市職員船越さん、西岡さんによる案内湿地散策（整備事業、企業ボランティアについて説明）/森のようちえんの取組みについて/OECMIについて	自然と生物多様性
12:00	昼食	プラントベースランチボックス	プラントベース食
13:15	視察 📍 北村わさび	わさび農家北村宜弘さんによる説明 取組み/温暖化の影響と対策/苔とりorわさびの収穫後の掃除/試食	農業と地域を考える
15:15	視察 📍 清滝小学校	清滝小断熱ワークショップの報告 報告書と動画の紹介/体験した小学生から当時の体験談や感想	エネルギー・断熱
16:10	視察 📍 志ん屋	宿の断熱について 断熱、非断熱の比較/補助金（窓リノベ事業）について/今後の宿や学校などへの断熱の波及について	エネルギー・断熱
17:10	宿着	📍 神鍋ハイランドホテル	
18:00	夕食 📍 和楽	プラントベースコース	プラントベース食
20:00	レクチャー フィードバック	Climate Integrate平田さんによるレクチャー：気候変動の今、これから/観光と気候変動について/フィードバック	気候変動



DAY 3

## SCHEDULE

2024年10月25日（金）

時間	プログラム	内容	ポイント
7:30	朝食 ホテル	プラントベース朝食	お茶の補充
9:00	ワークショップ 神鍋ハイランドホテル	第一部：今回のツアーについて ・ツアー参加者以外の方への本ツアーの説明とそのツアー参加者の方による振り返り 第二部：グループディスカッション ・テーマ「神鍋高原がサステナブルを極めていく為に必要なこと」	ワークショップ ディスカッション
11:00	終了	帰宅準備	
11:40	江原駅	JR江原駅帰り組離団	11:51発 特急こうのとり 14号（新大阪行き）
以下、オプションプラン			
15:15	出石	昼食・自由散策	そばで有名な出石散策
14:15	玄武洞	玄武洞・ミュージアム散策	玄武洞(入場料500円) 玄武洞ミュージアム(入場料800円)
15:45	城崎温泉	自由散策	外湯めぐりなど
17:00	城崎駅	JR城崎駅組離団	17:17発 特急はまかぜ6号(姫路経由大阪行き)
17:30	但馬空港	飛行機組離団	JAL2326便 但馬18:00→伊丹18:40



# 豊岡市が脱炭素先行地域に選定

コウノトリ羽ばたくサステナブルな脱炭素観光地域づくり  
～脱炭素による地域産業の再生・創出と地域の自然・文化の再生・創出～



## 共同提案者

(一社)日高神鍋観光協会

(一社)Climate Integrate

株式会社カネカ

ハチドリソーラー株式会社

株式会社ボーダレス・ジャパン

株式会社但馬銀行

但馬信用金庫

たじま農業協同組合

株式会社JTB



# 持続可能な観光地へ

観光で地域の未来をつくる

そして

地域から社会の変化をつくる

気候変動対策を切り口に持続可能な観光の実現を目指しています。